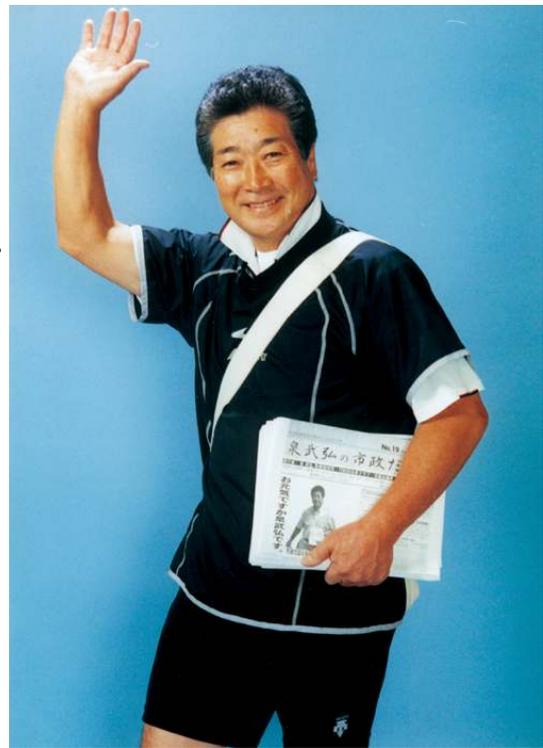


皆さんは、納税と引き換えに、より豊かな福祉を求めることができます。私は、

「最小の経費で最大の効果」が発揮できるように、改革に積極的に取り組んでいます。これまで、保育園の民営化、学校給食調理



業務の嘱託化（共同調理場は実施済み、単独校も実施に向けて作業を進めています）、ゴミ収集の民間委託、春木育苗圃の廃止、水道局企業手当の廃止、職員厚生会への公費負担の減額などに取り組んできました。

すでに我が国は、高齢者の増加した少子社会となりました。したがって、納税者は減少し続ける一方、社会保障費が増え続けることは避けて通れないことです。ですから、思い切った改革をして、行政の運営にかかる費用を少なくしなければなりません。これまで、基金を取り崩してきましたが、平成25年度には「基金が枯渇」すると見込まれています。だから大胆に、しかも改革に積極的に取り組まなければなりません。行政運営のムダを省くことは当然ですが、それだけでは財政の「構造」を変えることはできません。最善の策は、固定経費の「人件費」を大幅に削減することだ



と考えます。別府市の業務を、廃止してよい仕事、市の職員がしなくてはならない仕事、市と民間が協働でできる仕事、民間でできる仕事などに仕分けることが必要です。整理ができれば、その仕事をする方法として、市の職員とする仕

事、民間に委託する仕事、嘱託や臨時の職員、退職者の再雇用とする仕事、正規職員と非正規職員が一緒にする仕事に分けます。そうすることで、別府市に必要な職員数が決まるのです。改革は小手先ではできません。大胆に、しかも短期間に進めることが改革の成否を握っています。多くの議員が改革の必要性を強調します。しかし、真剣に取り組んだ議員を見たことがありません。私の取り組みについては「泉武弘のホームページ」でください。

私の目標は、「日本で一番税金を効率よく使う町」を目指しています。そのために、私はすべての力を注いで活動をします。